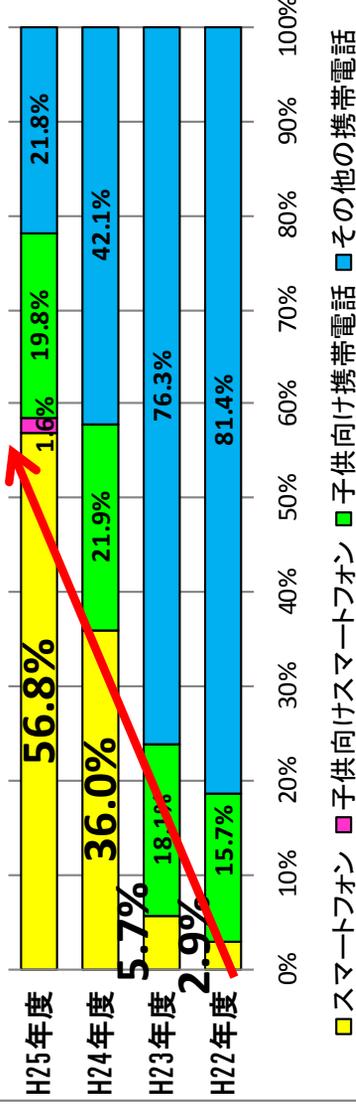


インターネット利用に係る児童の犯罪被害等を防止するための啓発資料の作成

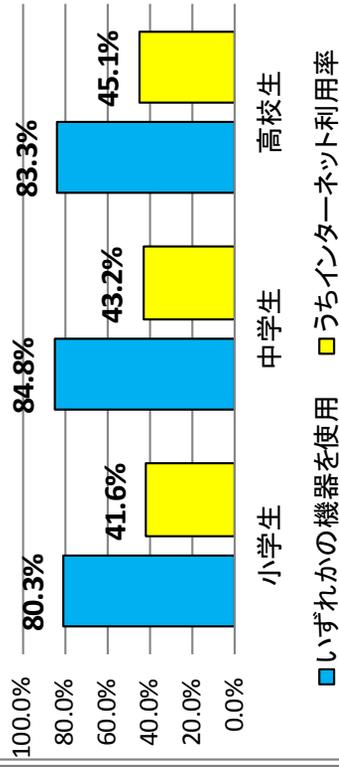
現状

スマートフォンのほか、携帯ゲーム機や携帯音楽プレーヤー等が児童に急速に普及

児童の携帯電話・スマートフォンの所有機種の推移



携帯ゲーム機、タブレット型携帯端末、携帯音楽プレーヤーの使用率及びインターネット利用率(平成25年度)



■ スマートフォン ■ 子供向けスマートフォン ■ 子供向け携帯電話 ■ その他の携帯電話

児童を取り巻くインターネット環境は極めて憂慮すべき状況

- インタリング利用率が**55.2%** (前年比-**8.3P**)に低下 (うちスマートフォン所有者は**47.5%**と更に低調)
- コミュニティサイトに起因する犯罪被害児童数が**1,293人** (前年比+**217人**)に増加 (ID交換掲示板に係る被害が急増)
- インターネット利用に係る犯行予告や爆破予告等の**少年犯罪が全国各地で発生**

※内閣府「平成25年度青少年のインターネット利用環境実態調査」

問題点

保護者や児童のインターネット利用に係る危険性の認識が希薄
様々な機器の登場で、多くの児童にとってインターネットが身近になるも、保護者の管理方法はより複雑に変化

早急に対策をとらなければ状況は更に悪化

対策

「スマートフォン等の普及を踏まえた児童の犯罪被害等を防止するための取組の推進について (生安局長通達)」 (H25.12.19)

- 保護者に対する広報啓発の強化
- 児童に対する情報モラル教育の推進
- 携帯電話事業者に対する要請の徹底 等

インターネットを苦手としている保護者や、インターネットを利用し始める児童にとっても、分かりやすく、インパクトのある啓発資料が不可欠

啓発用DVD、リーフレットの作成

- 全国で発生している被害事例や非行事例を集約し、インターネット利用の危険性や注意点をまとめた啓発用DVD (学齢別) 及び保護者向けリーフレットを作成。
- 保護者説明会や非行防止教室における教材として活用するとともに、警察庁HP等にもそれぞれ掲載。

「女性活躍加速のための重点方針 2015」 該当箇所	
大項目	4. 暮らしの質の向上のための取組
中項目	(1) 暮らしの質の向上に資する空間づくり
小項目	<p>① 誰もが毎日使用するトイレが特に女性にとって気分転換やコミュニケーションの場でもあることにかんがみ、女性が暮らしやすくなる空間へと転換する象徴として、トイレに関し、以下の方向で取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界で最も快適なトイレ環境を実現する。このため、 <ul style="list-style-type: none"> — 全ての人が使用しやすくなるよう、 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 障害者、高齢者などに配慮したユニバーサルデザイン化の推進といったことを重視しつつ、取組を進める。
該当施策名 (事業名)	国民公園・国立公園のユニバーサルデザイン対応の推進
該当施策の背景・目的	<p>「観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2015」(平成 27 年 6 月 5 日観光立国推進閣僚会議決定)において、ユニバーサルツーリズムの推進に言及している。</p> <p>環境省が所管する国民公園や国立公園の美しい自然は、重要な観光資源となっており、地域の活性化に寄与するところが大きく、更なる利用者の増加を見込む上で、ユニバーサルデザイン対応は喫緊の課題となっている。</p> <p>このため、国民公園・国立公園において、高齢者、障がい者、ベビーカー利用者、外国人など、あらゆる人が快適に過ごすことのできるよう、ユニバーサルデザイン対応を推進する。</p>
該当施策の政策手段の分類	<p>A 法令・制度改正</p> <p>B 税制改正要望</p> <p>Ⓒ 予算 27 年度予算 : 8,788,000 千円 (内数)</p> <p>D 機構定員要求</p> <p>E その他 (具体的に :)</p>
該当施策概要	<p>国民公園・国立公園においては、ユニバーサルデザインに係る簡易な修繕、改修(サイン表示や段差の解消等)を速やかに実施する。また、施設の新設、再整備や大規模改修を行う際には、多目的トイレ、園路の段差、手すり、サイン表示等のユニバーサルデザインの導入が可能な施設においては、ユニバーサルデザインに対応した施設整備を実施していく。</p>
問い合わせ先 部局課 担当者名 連絡先	<p>環境省 自然環境局国立公園課 自然環境局国立公園課国立公園利用推進室 自然環境局自然環境整備担当参事官室 自然環境局総務課</p>

国立公園におけるユニバーサルデザインプロジェクト事業

背景・目的

- 「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2015」では、ユニバーサルデザインの推進に言及。
- 国立公園においては、年間3.5億人の来訪者を迎え、さらなる利用者の増加を見込む上で、ユニバーサルデザイン化は喫緊の課題。
- 2020年を目標年とする観光立国の実現に向け、政府一丸となった取組の一翼を担う。

事業スキーム

委託対象：民間団体

事業概要

- ①訪日外国人等を対象とした国立公園の戦略的な情報発信による誘客
- ②国立公園の魅力伝えるガイドやコーディネーターの人材養成
- ③ユニバーサルツーリズムに意欲のある地域に「国立公園魅力発信プラン」の策定を支援

期待される効果

国立公園の魅力の向上により、訪日外国人の増加をはじめ、地域の観光振興・活性化に寄与する。

事業目的・概要等

イメージ

課題

情報発信の方法等が不十分

ガイド等の人材不足、マナーの不徹底

受け入れ体制の未整備

①国立公園等における戦略的な情報発信推進事業

- ・ウェブ上での訪日外国人向け情報発信、海外旅行博等への出展及び海外メディアの誘致等を行う。
- ・障がい者、高齢者に対する公園等へのアクセス情報や施設情報、施設内の表示等に関する情報発信

②ユニバーサルツーリズムの推進のための人材養成

- ・訪日外国人向けエコツアアのガイド・コーディネーター等の人材養成、安全対策
- ・ユニバーサルマナーに関する研修の実施、サービス助手士の活用等によるユニバーサル人材の育成

③地域の受入れ体制整備

- ・ユニバーサルツーリズムに意欲のある地域における、「国立公園魅力発信プラン」の策定を支援

国立公園の魅力の向上により、訪日外国人の増加をはじめ、地域の観光振興・活性化に寄与



国立公園等整備事業(国立公園等)

自然再生事業



自然生態系が消失・変容した箇所の自然環境の再生・修復を実施

地域自然資源活用重点整備運営事業 (国立公園バリエーションアップ事業)



活動施設の活用



利用施設の整備

環境学習の促進・地域の活性化に資する施設整備及び整備と連携した管理運営を実施

生態系維持回復事業



シカの食害や外来種による生態系への影響に対し、生態系の維持・回復のための施設整備を実施

人と自然が共生する国立公園重点整備事業



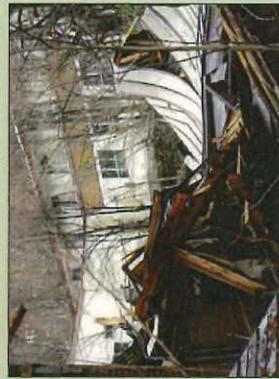
適正かつ質の高い利用を促進



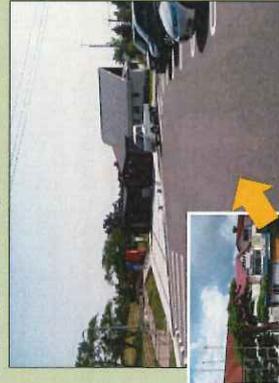
山岳地等における生態系保全

多くの利用者が訪れる地区及びフィールドにおいて、利用者による自然生態系への影響を軽減し、質の高い利用施設の整備を実施

集団施設地区等景観再生事業



国有地内の廃屋



国有地の廃屋撤去

観光客が集まる地域にふさわしくするため、老朽化施設の再整備や国有地内における廃墟の撤去など景観再生を実施

「女性活躍加速のための重点方針 2015」該当箇所	
大項目	4. 暮らしの質の向上のための取組
中項目	(1) 暮らしの質の向上に資する空間づくり
小項目	<p>① 誰もが毎日使用するトイレが特に女性にとって気分転換やコミュニケーションの場でもあることにかんがみ、女性が暮らしやすくなる空間へと転換する象徴として、トイレに関し、以下の方向で取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界で最も快適なトイレ環境を実現する。このため、 －女性が安心して使えるよう、安全面への配慮 <p>といったことを重視しつつ、取組を進める。</p>
該当施策名 (事業名)	警察官による公衆トイレへの立寄り等の実施
該当施策の背景・目的	公衆トイレにおける不審者情報が寄せられたなどの犯罪発生等のおそれがある場合には、必要に応じて、警察官がパトロールの際に立寄り等を行い、女性等の利用者が安心して使えるよう安全面への配慮が必要であるため。
該当施策の政策手段の分類	<p>A 法令・制度改正</p> <p>B 税制改正要望</p> <p>C 予算</p> <p style="padding-left: 40px;">27年度予算： 千円</p> <p style="padding-left: 80px;">※内数である場合はその旨記載。</p> <p style="padding-left: 40px;">28年度要求方針： 新規 拡充 継続</p> <p style="padding-left: 80px;">※該当するものに○をしてください。</p> <p>D 機構定員要求</p> <p><input checked="" type="radio"/> E その他（具体的に：都道府県警察への通知）</p>
該当施策概要	公衆トイレについて、犯罪発生等のおそれがある場合には、必要に応じて、警察官がパトロールの際に立寄り等を行う。
問い合わせ先 部局課	警察庁 生活安全局地域課

「女性活躍加速のための重点方針 2015」該当箇所	
大項目	4. 暮らしの質の向上のための取組
中項目	(1) 暮らしの質の向上に資する空間づくり
小項目	<p>① 誰もが毎日使用するトイレが特に女性にとって気分転換やコミュニケーションの場でもあることにかんがみ、女性が暮らしやすくなる空間へと転換する象徴として、トイレに関し、以下の方向で取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界で最も快適なトイレ環境を実現する。このため、 -女性が安心して使えるよう、安全面への配慮 といったことを重視しつつ、取組を進める。
該当施策名 (事業名)	自治体等と連携した防犯環境の整備
該当施策の背景・目的	犯罪防止に配慮した環境設計による安全・安心まちづくりを推進しており、その一環として公共施設の一つである公衆便所の防犯環境整備も含まれているもの。
該当施策の政策手段の分類	<p>A 法令・制度改正 B 税制改正要望 C 予算 27年度予算： 千円 ※内数である場合はその旨記載。 28年度要求方針： 新規 拡充 継続 ※該当するものに○をしてください。</p> <p>D 機構定員要求 E その他（具体的に：都道府県警察への通達）</p>
該当施策概要	<p>警察庁では、道路、公園等の公共施設等において犯罪防止に配慮した環境設計がなされるよう、「安全・安心まちづくり推進要綱」（平成12年制定、平成26年最終改正）を制定し、各都道府県警察に通達している。</p> <p>本要綱は、公衆便所について照度の確保や防犯ベルの設置を求めているほか、犯罪の多い地区における防犯カメラの整備など、公共施設の整備・管理に係る防犯上の留意事項を示したものとなっている。</p> <p>各都道府県警察においては、本要綱の趣旨を踏まえ、公衆便所の管理主体となる自治体等に対し、防犯環境の整備を働きかけている。</p>
問い合わせ先 部局課	警察庁 生活安全局生活安全企画課

「女性活躍加速のための重点方針 2015」 該当箇所	
大項目	4. 暮らしの質の向上のための取組
中項目	(1) 暮らしの質の向上に資する空間づくり
小項目	① 誰もが毎日使用するトイレが特に女性にとって気分転換やコミュニケーションの場でもあることにかんがみ、女性が暮らしやすくなる空間へと転換する象徴として、トイレに関し、以下の方向で取組を行う。 ・世界で最も快適なトイレ環境を実現する。このため、全ての人が使用しやすくなるよう、女性の職域拡大に資するトイレ整備の促進
該当施策名 (事業名)	職場における女性用トイレの整備等
該当施策の背景・目的	労働安全衛生法に基づく衛生基準に、事務所における女性用トイレの設置数に係る規定があり、当該規定に基づく措置の徹底を図る。
該当施策の政策手段の分類	A 法令・制度改正 B 税制改正要望 C 予算 27年度予算： 千円 ※内数である場合はその旨記載。 28年度要求方針： 新規 拡充 継続 ※該当するものに○をしてください。 D 機構定員要求 <input checked="" type="checkbox"/> E その他(具体的に：指導の徹底)
該当施策概要	事務所における女性用トイレの設置数に係る労働安全衛生法に基づく衛生基準の遵守について、労働基準監督署による事業者への指導の徹底を図る。
問い合わせ先 部局課	厚生労働省 労働基準局安全衛生部労働衛生課

	<p>に、消防本部における女性消防吏員の更なる活躍に向けた取組の推進について通知を発出予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ この通知において、女性消防吏員の活躍推進を進めるための取組の一つとして、女性消防吏員の活躍の場を広げるため、消防本部・消防署・支所等において、トイレを含む女性専用の施設整備を計画的に推進するよう助言。 ○ 消防庁としても、財政措置を含めた取組支援策を検討。
<p>問い合わせ先 部局課</p>	<p>総務省 消防庁消防・救急課</p>

<p>該当施策概要</p>	<p>公共施設や公共交通機関等におけるトイレの使用方法・マナー向上や、授乳・おむつ替えスペースの確保に向け、事業者等と連携した啓発活動（キャンペーン、ポスター配布等）を行う。</p> <p>女性の参画が少なかった分野におけるトイレ整備のあり方等について、ICTを活用したトイレマップの試作等、現場・公共トイレ双方の利用環境の整備に向けた調査検討を行う。</p> <p>また、観光地のトイレ対応については、上記の啓発活動に加え、新しい技術の活用を含めた方策を調査・検討する（ベスト・プラクティス収集のための現地調査の実施、導入可能な技術についてのメーカー等へのヒアリング等）</p>
<p>問い合わせ先 部局課</p>	<p>国土交通省 総合政策局安心生活政策課</p>

被災者支援に関する総合的対策の推進経費①（うち 質の向上関係）

28年度要求額（案） ●. ●億円

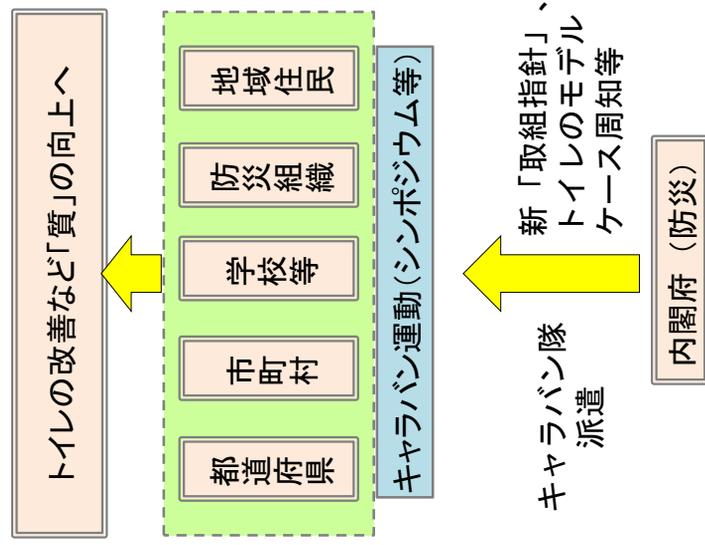
政策統括官（防災担当）
（被災者行政担当）

事業概要・目的・必要性

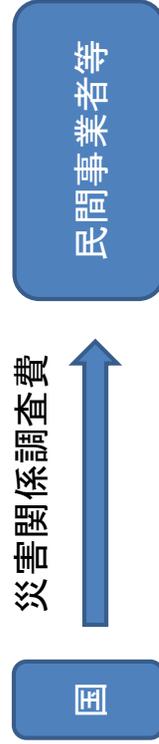
〔事業年度：平成25年度～終了年度未定〕

- 一般の避難所については、相談対応等が未整備であったり、トイレの改善、高齢者や女性の生活の質の向上に向けた取組の推進などの課題が指摘されている。
- このため、一般の避難所のトイレの改善など、生活の質の向上に関する「キャラバン運動」を展開する。

事業イメージ・具体例



資金の流れ



期待される効果

- 避難所において、トイレの改善や相談対応の充実などにより、高齢者や女性を含めた避難者の生活面での質の向上が図られる。

「女性活躍加速のための重点方針 2015」 該当箇所	
大項目	4. 暮らしの質の向上のための取組
中項目	(1) 暮らしの質の向上に資する空間づくり
小項目	① 誰もが毎日使用するトイレが特に女性にとって気分転換やコミュニケーションの場でもあることにかんがみ、女性が暮らしやすくなる空間へと転換する象徴として、トイレに関し、以下の方向で取組を行う。
該当施策名 (事業名)	日本トイレ大賞
該当施策の背景・目的	我が国最大の潜在力である「女性の力」が十分に発揮され、我が国社会の活性化につなげるためには、女性の「暮らしの質」の向上が不可欠である。このため、平成 27 年度において、女性の「暮らしの質」の向上に資する取組、とりわけ、すべての女性が暮らしやすくなる空間へと転換する「象徴」となるトイレに関連する優れた取組事例を選定することによって、すべての女性が輝く社会づくりに資することを目的とする。
該当施策の政策手段の分類	<p>A 法令・制度改正</p> <p>B 税制改正要望</p> <p>C 予算</p> <p>27 年度予算： 千円</p> <p>※内数である場合はその旨記載。</p> <p>28 年度要求方針： 新規 拡充 継続</p> <p>※該当するものに○をしてください。</p> <p>D 機構定員要求</p> <p><input checked="" type="radio"/> E その他（具体的に：好事例の発掘）</p>
該当施策概要	5月26日から7月20日に広く募集を行い、集まった応募案件の中から選考審査会を経て受賞案件を選定し、9月に表彰式を開催予定。また、受賞しなかった案件についても、好事例集を作成し、発信を行う予定。
問い合わせ先 部局課	内閣官房 すべての女性が輝く社会づくり推進室

「女性活躍加速のための重点方針 2015」 該当箇所	
大項目	4. 暮らしの質の向上のための取組
中項目	(1) 暮らしの質の向上に資する空間づくり
小項目	<p>①誰もが毎日使用するトイレが特に女性にとって気分転換やコミュニケーションの場でもあることにかんがみ、女性が暮らしやすくなる空間へと転換する象徴として、トイレに関し、以下の方向で取組を行う。</p> <p>(略)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同時に、我が国はトイレに関し高い技術力を保有することから、 <u>我が国の文化・伝統の強みを背景に持つ日本の高機能トイレの魅力の海外発信</u> や世界をリードするための国際標準化 －野外排泄人口が約 10 億人という現状の改善に資するため、日本の技術を活用した国際貢献 <p>といったことを重視しつつ、取組を進める。</p>
該当施策名 (事業名)	ビジット・ジャパン事業 (訪日プロモーション)
該当施策の背景・目的	訪日外国人旅行者を誘致するため、我が国の観光魅力を発信するビジット・ジャパン事業を実施。この中で、日本の高機能トイレの魅力についても発信。
該当施策の政策手段の分類	<p>A 法令・制度改正</p> <p>B 税制改正要望</p> <p><input checked="" type="radio"/> C 予算</p> <p>27 年度予算： ビジット・ジャパン関連予算 80 億円の内数</p> <p>28 年度要求方針： 新規 拡充 <input checked="" type="radio"/> 継続</p> <p>※該当するものに○をしてください。</p> <p>D 機構定員要求</p> <p>E その他 (具体的に：)</p>
該当施策概要	JNTO (日本政府観光局) が運営する、日本の様々な魅力を動画で発信するウェブサイト「Discover the Spirit of Japan」に掲載されている動画の中で、日本の高機能トイレについても紹介。
問い合わせ先 部局課 担当者名 連絡先	国土交通省観光庁 国際観光課

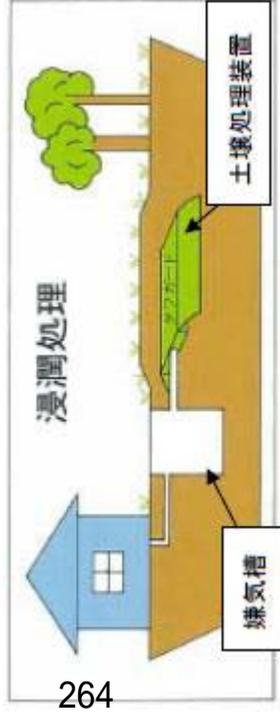
「女性活躍加速のための重点方針 2015」 該当箇所	
大項目	4. 暮らしの質の向上のための取組
中項目	(1) 暮らしの質の向上に資する空間づくり
小項目	<p>① 誰もが毎日使用するトイレが特に女性にとって気分転換やコミュニケーションの場でもあることに鑑み、女性が暮らしやすくなる空間へと転換する象徴として、トイレに関し、以下の方向で取組を行う。</p> <p>(中略)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同時に、我が国はトイレに関し高い技術力を保有することから、 <ul style="list-style-type: none"> －我が国の文化・伝統の強みを背景に持つ日本の高機能トイレの魅力の海外発信や世界をリードするための国際標準化 －野外排泄人口が約 10 億人という現状の改善に資するため、日本の技術を活用した国際貢献 <p>といったことを重視しつつ、取組を進める。</p>
該当施策名 (事業名)	ODAによる途上国のトイレ支援
該当施策の背景・目的	我が国は、国際社会の平和と安定及び繁栄の確保により一層積極的に貢献することを目的として開発協力を推進している。こうした協力を通じて、我が国の平和と安全の維持、更なる繁栄の実現、安定性及び透明性が高く見通しがつきやすい国際環境の実現、普遍的価値に基づく国際秩序の維持・擁護といった国益の確保に貢献することとしている。
該当施策の政策手段の分類	<p>A 法令・制度改正</p> <p>B 税制改正要望</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C 予算</p> <p>27 年度予算：無償資金協力及び JICA 運営費交付金の内数 ※内数である場合はその旨記載。</p> <p>28 年度要求方針： 新規 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p>※該当するものに○をしてください。</p> <p>D 機構定員要求</p> <p>E その他（具体的に：)</p>
該当施策概要	インフラ未整備地域でも使用可能な環境配慮型トイレの導入、小学校における男女別トイレ棟の整備等の ODA による途上国のトイレ支援を実施する。
問い合わせ先 部局課	外務省 国際協力局 開発協力総括課

ODAによる途上国のトイレ支援事例

ソロモン諸島及びその他太平洋諸島「ソロモン諸島」「ソロモン諸島及びその他太平洋諸島における環境配慮型トイレ導入調査」(2012年10月～2013年3月)

案件化調査

首都ホニアラ市内の学校約40校の既存トイレへの環境配慮型トイレ(Taisei Soil System:日本の昔ながらの手法である「肥溜め」と「畑」の原理で生活排水を処理する。)導入と維持管理を含めた技術移転及び教員・生徒への教育等を行い、学校の衛生環境改善及び衛生意識の向上を行った。その後、本調査で関係を構築した現地パートナーと継続的な連携を図っているほか、2013年度、2014年度は、環境省の事業でホニアラ市内の高校、公衆トイレに環境配慮型トイレを設置し、実証試験を行っている。(提案企業:大成工業株式会社(鳥取県米子市))



【環境配慮型トイレ概要図】

- ・放流先不要
- ・安定した処理能力
- ・電力不要
- ・簡易かつ低価な維持管理
- ・日本で400以上の実績
- ・環境省実証試験認証



【トイレ調査状況】

スリランカ「マナー県マナー北イッチャラワッカイ小学校における教育環境向上計画」(2013年)

草の根無償



【建設された男女別トイレ】

マナー県マンタイウエスト郡において、子どもたちの初等教育をとりまく環境を改善すべく、校舎や事務棟に加え、男女別トイレ棟(計7基)を含む衛生施設を整備し、清潔に使用されている。

「女性活躍加速のための重点方針 2015」該当箇所	
大項目	4. 暮らしの質向上のための取組
中項目	(1) 暮らしの質の向上に資する空間づくり
小項目	<p>① 誰もが毎日使用するトイレが特に女性にとって気分転換やコミュニケーションの場でもあることにかんがみ、女性が暮らしやすくなる空間へと転換する象徴として、トイレに関し、以下の方向で取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同時に、我が国はトイレに関し高い技術力を保有することから、一我が国の文化・伝統の強みを背景に持つ日本の高機能トイレの魅力の海外発信や世界をリードするための国際標準化といったことを重視しつつ、取組を進める。
該当施策名 (事業名)	温水洗浄便座の国際規格の開発
該当施策の背景・目的	日本の「おもてなし文化」を凝縮・具現化した温水洗浄便座、を世界に発信し、こうした日本製品の世界市場におけるシェアを一層拡大することが期待できる。
該当施策の政策手段の分類	<p>A 法令・制度改正 B 税制改正要望 C 予算 27 年度予算： 千円 ※内数である場合はその旨記載。 28 年度要求方針： 新規 拡充 継続 ※該当するものに○をしてください。</p> <p>D 機構定員要求</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> E その他 (具体的に：国際規格の作成)</p>
該当施策概要	<p>温水洗浄便座の国際規格を作成し、平成 30 年の規格発行を目指す。 2014 年 10 月に日本から NP 提案を提出し、今年 2 月に NP 提案が承認された。現在ワーキングドラフトの作成中であり、秋頃をめどに完成予定。 ※NP (New Work Item Proposal)：新たな規格の策定、現行規格の改定を提案すること</p>
問い合わせ先 部局課	<p>経済産業省 産業技術環境局 基準認証ユニット 国際標準課</p>

「女性活躍加速のための重点方針 2015」該当箇所	
大項目	4. 暮らしの質の向上のための取組
中項目	(2) 問題・課題を抱えた女性に対する情報提供と妊娠、出産、子育て、介護等に係る支え合い
小項目	①・「女性応援ポータルサイト」の充実・強化等を通じたインターネット上での情報のワンストップ化を図る。
該当施策名 (事業名)	女性活躍促進に向けた情報システム構築
該当施策の背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・女性のライフステージや多様な働き方・活躍に対応する支援情報が実施機関毎に点在しているなど、必要な情報にアクセスし辛い状況にある。 ・このため、政府として、女性の支援に関する様々な情報を利用者に利便性の高い仕組みで一元的に提供するための総合的な情報プラットフォーム「女性応援ポータルサイト」を平成 26 年度末に開設したところであり、その継続的な情報更新などが必要。
該当施策の政策手段の分類	<p>A 法令・制度改正 B 税制改正要望 <input type="checkbox"/> C 予算</p> <p>27 年度予算： 13,474 千円 ※内数である場合はその旨記載。</p> <p>28 年度要求方針： 新規 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p>※該当するものに○をしてください。</p> <p>D 機構定員要求 E その他（具体的に：)</p>
該当施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なライフステージにある女性のニーズに応える形で、国や都道府県、男女共同参画センター、NPO等の関連支援情報を集約・整理するなど、「女性活躍応援ポータルサイト」の継続的な情報更新及び機能拡充（検索機能の強化等）を行う。
問い合わせ先 部局課	内閣府 男女共同参画局推進課